

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会原子力小委員会 第46回会合

# 原子力産業基盤維持・強化の取組み(メーカ人材・サプライチェーン)

令和7年10月1日 一般社団法人 日本電機工業会

# 目次

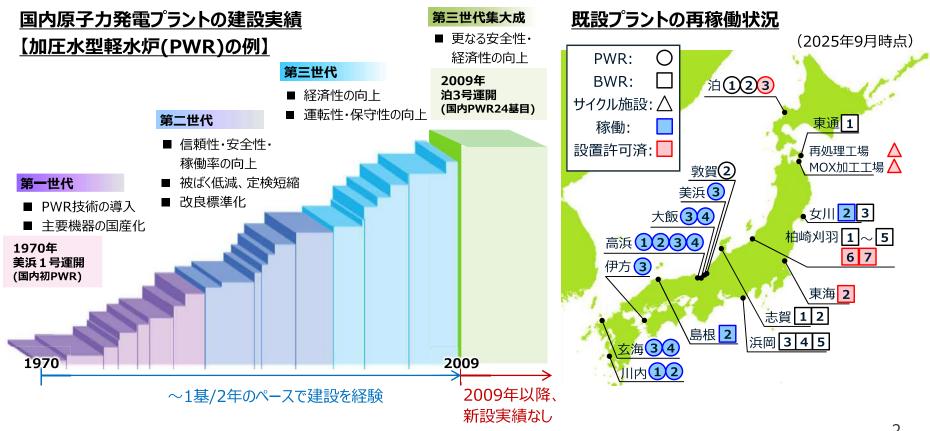


国内原子力プラントの建設・運転実績	• • •	2	
メーカの原子力人材の現状と課題	• • •	3	
原子力産業界の人材確保の現状	• • •	4	
プラントメーカの人材確保に向けた取組み	• • •	5	
プラントメーカの人材育成の取組み	• • •	6	
原子カサプライチェーンの現状と課題	• • •	7	
産業大でのサプライチェーン維持・強化の取組み	• • •	8	
プラントメーカのサプライチェーン維持・強化の取組み	• • •	9 ~	12
国内新設計画に対するサプライヤからの期待	• • •	13	
まとめ	• • •	14	

# 国内原子カプラントの建設・運転実績



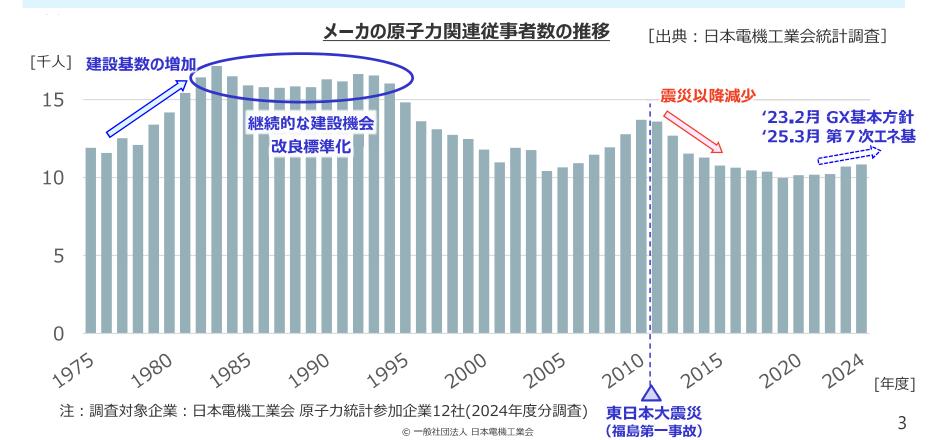
- 国内原子カプラントは、米国の技術導入から始まったが、50年以上に亘るプラント建設や保守の 経験を積む中で、国産化、改良標準化、継続的な安全性向上を図りながら、世界最高水準の 国産原子力技術とそれを支える高度なサプライチェーンを確立
- 現在、14基まで再稼働が達成されているが、震災以降、2009年の北海道電力・泊3号機を 最後に15年以上新設プラントの運開は実現していない



# メーカの原子力人材の現状と課題



- メーカ従事者数は、1970年代以降の新設機会とともに年々増加、継続的な建設機会があった 1990年代半ばまで高水準を維持したが、その後、建設計画の減少や東日本大震災を起点に 従事者数も減少
- 近年は、GX基本方針以降の"原子力最大限活用"、"次世代革新炉の開発・設置"や"国内リプレース"等の政策方針もあり、若干増加傾向がみられるものの、今後の新設実現のためには更なる原子力人材の確保が重要

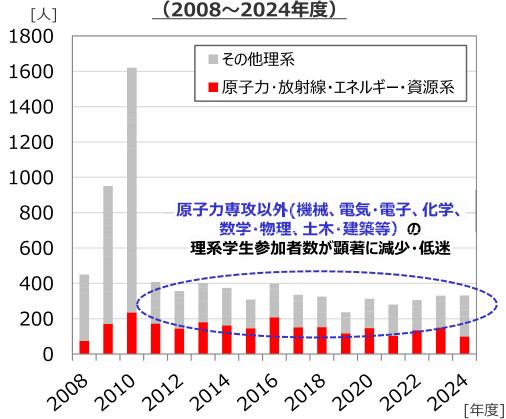


# 原子力産業界の人材確保の現状



- 学生向けの**原子力産業セミナーへの参加者は、震災以降に大幅に減少** 
  - ※ 原子力関連学科の学生は一定規模を維持しているものの、原子力以外の分野の参加者数が顕著に低迷
- 原子力関連企業/約240社へのアンケート(2024年度)では、**7割近くの企業が必要な人員を** 採用できておらず、原子力人材の獲得に苦戦している状況

# 原子力産業セミナー参加者数(文系除く)の推移



[データ提供:日本原子力産業協会]

© 一般社団法人 日本電機工業会

## 原子力関連企業の採用状況(2024年度)



【調査対象企業(有効回答数):243社】

・電気事業者 : 11社・電気事業者以外\* : 232社

\* 重電機器メーカー、建設業、燃料関係メーカー、

サービス業等

[出典:日本原子力産業協会産業動向調査をもとに作成]

# プラントメーカの人材確保に向けた取組み



- 政府の"原子力最大限活用"の方針や新設計画の進展を見据え、リソース強化を進める方針
- プラントメーカでは、インターンシップ、学生向けイベント(研修・セミナー・工場見学会等)、原子力の情報発信など採用に向けた取組みを強化



原子力人材の育成を応援します!教育、進路指導、企業研究の一環などに是非ご活用ください



この社員のインタビュー動画、公開中!

東芝で、高効率な発電システムをつくりたい。













日立ホームページ(原子力事業の取り組みや仕事のやりがいを紹介)

# プラントメーカの人材育成の取組み



- 新入社員やキャリア採用の技術人材を対象に、原子力プラントの設計・製造・建設・保守等の幅広い 技術分野をカバーした基礎研修・講座を導入教育として実施
- 技能職人材に対しては、メーカでの生産活動に必要な基礎技能/知識/資格等の習得を目的とした 技能訓練制度を設け、入社後1年間の教育訓練を実施 「=菱重Tの例]

## OFF-JT(原子力基礎研修・講座)の実施例



## 現場作業者を対象とした技能訓練



# 原子カサプライチェーンの現状と課題

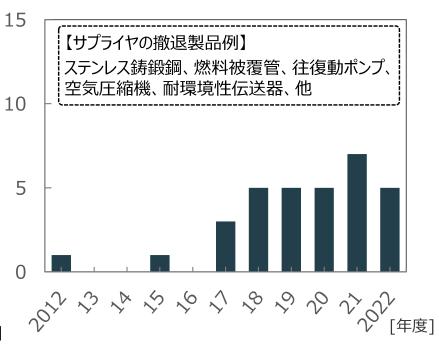


- 原子力プラントを支える高度な技術が国内企業に集積※しており、既設炉の安全・安定運転や新設 に向けて産業基盤(技術・人材・サプライチェーン)の維持が重要 ※原子力発電所機器の国産化率は9割以上
- 東日本大震災以降の事業機会の縮小などを理由に、一部サプライヤの事業撤退が継続して発生

## 日本の原子カサプライチェーン プラントメーカー (3社) 電気事業者 冷却材循環系 原子炉圧力容器 電気·計装 原子炉内構造物 建設 燃料会社 原子力特有の技術を持つ企業(400社以上) ·原子燃料製造 ·大型鍛鋼品 ·主蒸気隔離弁 ·非常用DG ・伝熱管・逃がし安全弁 ·基盤工事 等 汎用技術により原子力部品を提供する企業

[第47回原子力委員会定例会 資料 1 - 1 (H24.10.30) 等を元に作成]

# 原子カサプライヤの撤退状況 [製造中止又は事業撤退した原子力関連の品目数]



[出典:日本電機工業会]



# 産業大でのサプライチェーン維持・強化の取組み

- 経済産業省が、原子カサプライチェーンプラットホーム(NSCP)を立上げ、人材育成・確保、供給 途絶対策・事業継承、海外プロジェクト参画など多方面にわたって、国内企業の取組みを支援
- 『原子力産業基盤強化事業』や『次世代革新炉の開発・建設に向けた技術開発・サプライチェーン 構築支援事業(GX推進支援事業)』などの補助金事業でも、技術開発や基盤整備等の取組みを 積極的に支援

#### 原子カサプライチェーンプラットフォーム会員企業(約200社)

# | THE | CAN | MERCAN | MERCA

#### 海外プロジェクト参画支援(海外オケージョン)の実施例



GE Hitachi Nuclear Energy 訪問@米(2025)



現地政府との意見交換@加(2024)

# プラントメーカのサプライチェーン維持・強化の取組み 🎏 JEMA

# (1)供給途絶対策

- サプライヤの事業撤退や製造中止品の供給途絶対策として**一般産業用工業品採用に向けた取組み** を推進。経済産業省・産業基盤強化委託事業の支援を受けて運用ガイドラインを策定し、サプライヤ とも連携しながら実機適用に向けた検討・協議を実施中
- また、一部サプライヤが対応困難な事例に対しては、プラントメーカが技術・事業を継承して内製化

## ① 一般産業用工業品採用に向けた取組み

- サプライヤ標準品質管理、一般産業規格品等の 原子カプラントへの適用にあたり、原子力特有の 品質管理をプラントメーカが代行
- 産業大で運用ガイドライン\*を策定し、業界での 適用に向けた取組みを推進中
- \*「一般産業用工業品採用ガイドライン」(日本電機工業会)

# 製品設計 設定業用工業品採用ガイドライン 原子力品質管理 原子力品質 原子力事業者

## ② プラントメーカによる内製化

製造中止品の供給途絶対策として、一部は プラントメーカで技術・事業を継承し、内製化 (例:スタッドテンショナ、往復動ポンプ、等)



(原子炉容器定期検査用特殊装置)

# プラントメーカのサプライチェーン維持・強化の取組み (2)海外プロジェクト参画



- **海外プラント向けのコンポーネント輸出や海外建設プロジェクトへの参画**を通じて、国内での機器 製造機会を創出
- プラントメーカでのものづくりに加えて、サプライヤでの製作・製品供給の機会にもつながり、日本の原子カサプライチェーンの人材・技術・製造基盤の維持に貢献

## 海外プラント向けコンポーネント輸出の例



蒸気発生器



原子力向け蒸気タービン



原子炉容器上蓋



原子炉内機器

## 海外建設プロジェクト参画の例



- ◆米国の姉妹会社と共同で小型軽水炉 BWRX-300を開発中
- ◆カナダ・オンタリオ州営電力会社OPGが 進めている初号炉建設プロジェクト向けに、 日本国内のサプライチェーンを活用して 信頼性の高い原子炉の主要機器を提供

「日立GEVの例】

# プラントメーカのサプライチェーン維持・強化の取組み 🎏 JEM 🔼

# (3)製品·技術開発

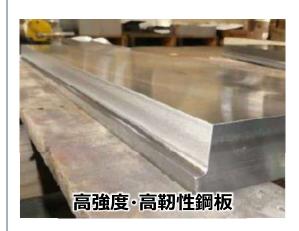


■ 経済産業省『次世代革新炉の開発・建設に向けた技術開発・サプライチェーン構築支援事業』、 『原子力産業基盤強化事業』の支援を受け、プラントメーカとサプライヤが連携して次世代革新炉の 開発・設置に向けた新製品・新材料開発や製造中止品の代替機器開発などの技術開発を実施中

## 経済産業省「原子力産業基盤強化事業」における製品・技術開発の取組み事例

#### 格納容器用高強度·高靭性鋼板

■ 革新軽水炉に適用する高強度・ 高靭性鋼板の試作/試験等



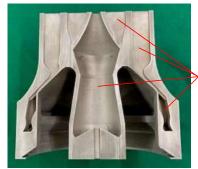
#### 耐環境型伝送器

- ■製造中止品の代替機開発
- 耐環境性計器としての機能・ 性能検証、量産化検討 等



## 先進製造技術(AM\*技術)

- 鋳造品・鍛造品代替や特殊 形状部材等の製造技術として のAM技術適用
- AM造形技術の特長を活かした 軽量化設計・試作、検証 等



軽量化設計 (中空構造)

(造形試作例) 制御棒部材

\*AM: Additive Manufacturing

# プラントメーカのサプライチェーン維持・強化の取組み (愛JEMZ)

## (4)連携強化·理解醸成



- メーカ各社は、サプライヤ訪問や交流会を開催し、原子力事業の状況、今後の見通しなどを説明・ 共有することで原子力産業界の連携を維持・強化
- 定期的な講演、教育などを通じて、品質保証や安全文化などに係る理解醸成活動も推進
- 三菱重工では、プラント新設に向けて200社以上のサプライヤとの協議に着手、今後も継続して 体制構築に向けて取組む

## ・産業界の連携強化

✓ メーカ幹部によるサプライヤ訪問や交流会等を通じて、 事業状況や見通しを共有

## 理解醸成活動

✓ 品質管理・品質保証や安全文化醸成に係る講演会、 教育などを诵じたサプライヤへの理解促進









# 国内新設計画に対するサプライヤからの期待



- 産業界を対象としたアンケートでは、94%が国や事業者による新設計画の策定が必要と回答、また、 サプライヤの事業継続判断には、継続的な受注規模・受注頻度が重要との意見が多数
- 具体的な建設計画の進捗に期待する声も多数あり、事業の予見性を高めるためには、新設を含めた 定量的な原子力の必要規模を示すことが有効

新設計画の必要性に関するアンケート

## 国や事業者による新設計画策定への期待大

国や電気事業者による原子力発電所の新規建設計画の策定の必要性について、

# 「必要」の回答率 94%

【調査対象企業(有効回答数):243社】<詳細p.4参照>

[出典:日本原子力産業協会産業動向調査(2024年度)]

プラントメーカの事業見通しだけでは不十分 国・事業者による具体的な事業計画が必要

## 事業継続判断に関するアンケート

## 事業継続には継続的な受注規模・頻度が重要

【設問】下記の要素のいずれが事業継続判断に強く影響を 与えますか。(該当するものを2つ選択;上位5項目)

	アンケート項目	「はい」の回答率	
1	受注規模	85%	
2	受注頻度	60%	
3	技術伝承の難しさ	37%	
4	製品・技術変更の難しさ	14%	
5	不適合発生時の責任の重さ	12%	

[出典:プラントメーカによるサプライヤアンケート結果(2024年度)]

## 関西電力・美浜後継機の自主調査再開を受けたサプライヤからの声

- > <u>メーカと協議していたが、まだ将来の話であり確固たるイメージまでは持てていないというのが正直なところだった。</u> **今回の発表を受け、より明確なものになった**ので、具体的な仕様協議等を通じて参画していきたい [機械・装置]
- ▶ 原子力事業/体制維持の観点から、具体的な新設に向けた取組みを待望していた [機械・装置]
- ➤ 新設に向けて今後のリソース配置を検討したいので、具体的な工程情報を頂きたい [材料・部素材]

# まとめ



- ◆ 東日本大震災以降、メーカやサプライヤの原子力関連従事者数は大幅に減少
- ◆ 近年はGX基本方針やエネルギー基本計画の改定なども受けて、今後の原子力事業体制の維持・強化に取り組む動きがある一方で、一部サプライヤの撤退や産業界の多くの企業が必要人員数の確保にも苦戦している状況が継続
- ◆ プラントメーカは、自社採用活動の強化や人材育成によるリソース拡充に取組むとともに、経産省補助事業やサプライチェーンプラットホームの枠組みなども通じて、サプライヤと連携して、次世代革新炉の開発・設置に向けた体制整備・強化を推進
- ◆ 次世代革新炉の開発・建設に向け、多くのサプライヤから新設計画の進捗や参画 に大きな期待が高まる中、事業継続や人材確保等の投資判断や事業予見性を 高めるために、具体的な事業機会・規模を明示してほしいという声が多数ある
- ◆ 原子力産業基盤の維持・強化につながるメーカ・サプライヤの事業予見性向上のために、今後の新設基数または設備容量も含めた定量的な原子力発電の必要規模を国の方針として明示して頂くことが有効と考える